

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野救命医療専門学校
設置者名	学校法人成田会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療職業実践専門課程	救急救命士学科	夜・通信	2030 時間	240 時間	
医療職業実践専門課程	柔道整復師学科	夜・通信	2520 時間	240 時間	
(備考) 両学科とも学年進行で教育課程の変更途中であるため、今年度に配置されている授業科目により記載					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.nagano-kyumeiryuu.ac.jp/pdf/jitsumukyouin.pdf/ 及び 配布資料「授業計画」

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野救命医療専門学校
設置者名	学校法人成田会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <https://www.nagano-kyumeiryoku.ac.jp/pdf/riji.pdf/>
及び 配布物「学校要覧」2020年度版

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2019.2.20 ～ 2023.2.19	法令遵守に関する チェック機能
非常勤	歯科医師	2019.2.20 ～ 2023.2.19	学校運営に関する 医療専門家としての チェック機能
非常勤	会社社長	2019.2.20 ～ 2023.2.19	法人経営に関する チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野救命医療専門学校
設置者名	学校法人成田会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○授業計画書(シラバス)の作成に当たっては、「長野救命医療専門学校 シラバス作成ガイドライン」に則り作成する。授業計画書の記載内容は以下のとおりとする。</p> <p>1 授業のねらい・目標(何を学ぶか)、2 授業の進め方と方法、3 授業の計画、4 授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)、5 教科書、6 参考書、7 成績評価の方法と基準、8 実務経験のある教員による授業科目、9 学生が準備すべき機器他、10 履修上の注意事項</p> <p>○シラバスの作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会で「シラバス作成ガイドライン」の内容を確認し、シラバスに記載する項目について検討 ・教育課程編成委員会にて、各学科長より本年度のカリキュラム、シラバスを説明し、委員より授業科目、方法の改善策を提言。 ・教育課程編成委員会で委員長(学校長)が委員の合意を得たうえで、教員会にて事務長より説明し、教員、講師に内容を周知する。 ・各学科長より科目担当教員にシラバスの作成を依頼。 ・科目担当教員が各学科長のシラバスを提出。 ・教育課程編成委員が記載事項の点検。不備のある場合は修正を依頼する。 ・教育課程編成委員が最終点検し、集計を行う。 <p>○シラバス作成の時期と公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成時期 冬休み明け(1月5日ごろ)から2月28日 ・公表時期 4月1日 	
授業計画書の公表方法	<p>【ホームページ】</p> <p>救急救命士学科 https://www.nagano-kyumeiiryoku.ac.jp/syllabus_emt2020.pdf 柔道整復師学科 https://www.nagano-kyumeiiryoku.ac.jp/syllabus_jt2020.pdf</p> <p>【刊行物】 及び 配布資料「授業計画」</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目の学修成果の評価については、学則第25条並びに試験規程第9条に定め、教員会の議を経て成績評価および通知を行う。

○成績評価の方法と基準

「到達目標」との対応を明確にする。期末試験の「得点」および授業テーマや内容ごとの小テスト・レポート課題・宿題・学習状況や参加度等による「平常点」について、要素ごとの配分(%)と評価基準を明示し、合計が100点となるように「総合点」を算出する。

○授業科目履修の認定

【学則第25条「授業科目履修の認定」】

授業科目を履修し、各科目ごとに定められた時間数の3分の2を超えて出席し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2 試験の成績の評価は、S・A・B・C・Dの5段階としC以上を合格とする。なお、それぞれの評価は、原則として、100点満点で90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとする。60点に満たない場合は、再試験を行い合格したものをC、不合格の場合はDとする。

以上のように、それぞれの規程等に記載されており、各学年の学習成果に基づき、予め設定した成績の評価の方法・基準により、履修認定を実施している。

○客観的指標 (GPA)・・・別添 に添付

○卒業認定方針・・・シラバスに記載

○成績評価及び履修認定に関する規定は以下のとおり

長野救命医療専門学校 学則 (29年度から31年度)

学則 第19条 教育課程及び必要単位 及び別表1・2

学則 第24条 単位計算方法

学則 第25条 授業科目履修の認定

学則 第33条 進級、卒業

学則 第34条 卒業証書

試験規程 第9条 成績評価および通知

○授業科目履修について

課程修了に必要な単位数は以下のとおり

救急救命士学科 107 単位

柔道整復師学科 100 単位

以上のように、それぞれの規定等に記載されており、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の成績評価方法の一つにGPA (Grade Point Average) を用い、履修科目の成績の1単位あたりの成績平均を数値で表す。GPAの結果を学生自らが確認し、自分の履修計画の点検材料として積極的に活用できるよう、GPAの通知は、成績表に記載することにより周知する。</p> <p>1. 成績の通知</p> <p>① 本校の成績表については、各期末試験終了後に「得点通知書」、学年末に「成績評価表」を学生並びに第1保証人に通知する。</p> <p>② 本校の成績評価基準については、シラバスに記載し学生には各学年の年度初めに配布により通知する。</p> <p>③ 本校の成績分布については各年度末に作成し、学生にはホームページ掲載にて周知する。</p> <p>2. 成績評価</p> <p>成績評価については、「S, A, B, C, D (不受験を含む)」の5段階で評価し(「S」の評価適用は2019年度においては1年生のみ)、C以上で合格となる。なお、それぞれの評価は、原則として、100点満点で90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとする。60点に満たない場合は、再試験を行い合格したものをC、不合格の場合はDとする。</p> <p>また、GP (Grade Point) としては、「Sは4.0、Aは3.0、Bは2.0、Cは1.0、Dは0.0」とする。</p> <p>3. GPAの計算方法</p> <p>① 年度GPA・・・年度ごとに算出したもの 当該年度に履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を当該年度の履修総単位数で除して算出する。</p> <p>② 累積GPA・・・入学時から現在の学期まで通算したもの 入学時から現在の学期までに履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を入学時からの履修総単位数で除して算出する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>【ホームページ】 https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/pdf/gpa.pdf 【配布物】 「学校要覧」2020年度版</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位数を取得した学生は卒業が認定されます。</p> <p>Ⅰ ディプロマポリシー (卒業認定・称号授与の方針)</p> <p>本校が定める単位を修得し卒業が認められ、救急救命士・柔道整復師の基礎となる「確かな専門性」を身につけ、創造的に実践する技術力や、思いやりの心をもつ「豊かな人間性」を備えたと認められる者に、専門士の称号を授与します。</p> <p>(卒業時に取得できる資格)</p> <p>卒業に必要な単位を修得することで、下記の国家試験の受験資格が得られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士国家試験受験資格 ・柔道整復師国家試験受験資格 <p>Ⅱ カリキュラムポリシー (教育課程編成とその運用の方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本校は、救命医療に携わる者として、「確かな専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた学生を育成することを教育理念とし、学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目や臨床実習を開設し、体系的な教育課程を編成します。 2. 本校が設置する学科は、それぞれの専門分野に関する高度な知識及び技術を教授・研究し、消防署や病院等の実習施設と連携した教育課程の編成を行い、医療人として受容的な態度をもち、適切な技術と一人一人のニーズを理解し支援できる優れた専門士を育成します。 <p>Ⅲ アドミッションポリシー (入学者受け入れの方針)</p> <p>本校は、「確かな専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた学生を育成することを教育目標としているため、次のような素養を備えた学生を求めています。</p> <p>(求める学生像)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 救命医療分野に関する専門的な知識や技術を修得するために、自発的・意欲的に学び、専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識を持っている者 2. 積極的に社会に関わり、様々な人の立場を尊重し、業務に深い関心を持って温かく接することのできる高い倫理観を持っている者 3. 日々、進歩する救命医療分野に適用していくために、自ら進んで課題を探究し、柔軟な思考力と判断力で解決しようとするチャレンジ精神を持っている者 <p>以上により、進級及び卒業の認定は、試験の成績、臨床実習の評価、出欠席状況等について評定のうえ、教員会の議を経て、校長が行う。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>【ホームページ】</p> <p>https://www.nagano-kyumeiiryu.ac.jp/pdf/policy.pdf</p> <p>【配布物】</p> <p>「学校要覧」2020年度版</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野救命医療専門学校
設置者名	学校法人成田会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/jouhoukoukai.html
収支計算書 又は損益計算書	https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/jouhoukoukai.html
財産目録	https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/jouhoukoukai.html
事業報告書	https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/jouhoukoukai.html
監事による 監査報告（書）	https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/jouhoukoukai.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

a. 救急救命士学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療職業実践 専門課程	救急救命士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,775 単位時間	1,305 時間	時間	1,470 時間	時間	時間
			2,775 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		47 人	0 人	4 人	7 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 授業方法及び内容、年間の授業計画については、授業計画書（シラバス）に記載のとおりである。なお、授業計画書の記載内容は以下のとおりとする。 1 授業のねらい・目標（何を学ぶか）、2 授業の進め方と方法、3 授業の計画、4 授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）、5 教科書、6 参考書、7 成績評価の方法と基準、8 実務経験のある教員による授業科目、9 学生が準備すべき機器他、10 履修上の注意事項
成績評価の基準・方法 （概要） 試験の成績により、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、D（60点未満）でC以上が合格

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級及び卒業の認定は、試験の成績、臨床実習の評価、出欠席状況等について評定のうえ、教員会の議を経て、校長が行う。校長は、所定の課程を修了した者に卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) 保護者との電話等での連絡を密にするとともに、必要に応じ面談を行っている。一人暮らしの場合、担任による家庭訪問を行っている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
救急救命士学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	3人 (10.7%)	19人 (67.9%)	6人 (21.4%)
(主な就職、業界等) 消防官・病院（救命救急センター）・警察・自衛隊・介護保険施設ほか			
(就職指導内容) 国家試験・公務員試験対策講座による筆記試験対策、及び面接試験、体力試験対策。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率57.1%。就職者21名のうち18名は救急救命士資格による採用。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71人	7人	9.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更3名、成績不振1名、学生生活不適合3名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 長期欠席者に対しては保護者との連絡を密にし、必要に応じて面談を行っている。また、成績不振者に対しては長期休業や放課後等を利用し、補習授業を行っている。		

b. 柔道整復師学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		医療職業実践 専門課程	柔道整復師学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	2880 時間	1190 時間	時間	240 時間	450 時間
			2,880 単位時間 / 100 単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人	35 人	0 人	6 人	16 人	22 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業方法及び内容、年間の授業計画については、授業計画書 (シラバス) に記載のとおりである。なお、授業計画書の記載内容は以下のとおりとする。 1 授業のねらい・目標 (何を学ぶか)、2 授業の進め方と方法、3 授業の計画、4 授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)、5 教科書、6 参考書、7 成績評価の方法と基準、8 実務経験のある教員による授業科目、9 学生が準備すべき機器他、10 履修上の注意事項
成績評価の基準・方法
(概要) 試験の成績により、S (90 点以上)、A (80 点以上)、B (70 点以上)、C (60 点以上)、D (60 点未満) で C 以上が合格
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級及び卒業の認定は、試験の成績、臨床実習の評価、出欠席状況等について評定のうえ、教員会の議を経て、校長が行う。校長は、所定の課程を修了した者に卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) 保護者との電話等での連絡を密にするとともに、必要に応じ面談を行っている。一人暮らしの場合、担任による家庭訪問を行っている

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
柔道整復師学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (80%)	2 人 (20%)
(主な就職、業界等) 接骨院・整骨院ほか			

<p>(就職指導内容) 国家試験講座による筆記試験、実技試験対策。個別に就職面談を実施。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 国家試験合格率(認定実技審査)100%。国家試験合格率(筆記試験)100%。</p>
<p>(備考)(任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>31人</p>	<p>1人</p>	<p>3.2%</p>
<p>(中途退学の主な理由) 学校生活不適合</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 長期欠席者に対しては保護者との連絡を密にし、必要に応じて面談を行っている。 また、成績不振者に対しては長期休業や放課後等を利用し、補習授業を行っている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
救急救命士学科	200,000円	800,000円	400,000円	施設設備費 200,000円 実習費 200,000円
柔道整復師学科	200,000円	900,000円	350,000円	施設設備費 200,000円 実習費 150,000円
修学支援(任意記載事項)				
特待生制度 / スキルアップ支援制度 A / スキルアップ支援制度 B / 入学金減免制度 / 社会人特別奨学金制度 / 成績優秀者奨学金制度 / 授業料減免制度(経済的支援)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 【ホームページ】 https://www.nagano-kyumeiiryoku.ac.jp/jouhoukoukai.html
情報公開「(9)学校評価」
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 【実施方法】 自己評価とともに学校関係者評価をとおして、本校の学校運営並びに教育活動の向上を図る。 評価委員会は、次の各号に掲げる事項について協議する。 ①学校経営 ②教育理念と学校運営 ③教育活動と学生支援 ④教育環境 ⑤学校評価と情報発信 ⑥その他必要と認める事項 評価委員会の委員名並びに評価結果について、学校要覧並びに本校ホームページにて公表する。 【主な評価項目】 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、以下の項目について評価を実施する。 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務、法令等の順守、社会貢献・地域貢献 【評価委員会の構成】 評価委員会は委員12名以内で組織する。 2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから学校長が委嘱する。 (1)地域消防署役職員、(2)地域柔道整復師会役員、(3)地域医師会役職員、(4)地域中学校長、(5)地域高等学校長、(6)大学教員、(7)教育関係有識者、(8)福祉関係有識者、(9)地域自治会長(代表)、(10)保護者代表、(11)学生代表、(12)その他、学校長が必要と認めた者 【評価結果の活用方法】

各学期末（9月・3月）に行う学生・教職員の自己点検評価をもとに、評価委員より意見を伺う。また学校関係者評価（2月実施）を通して教育内容の改善点を挙げ、次年度の教育活動の向上に繋げている。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
東御消防署	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域消防署役職員
長野県柔道整復師会	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域柔道整復師会役員
小県医師会	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域医師会役職員
御代田中学校	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域中学校長
長野県東御清翔高等学校	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域高等学校長
上田女子短期大学	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	大学教員
東御市教育委員会	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	教育関係有識者
東御市社会福祉協議会	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	福祉関係有識者
東御市田中区	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域自治会代表
保護者会	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	保護者代表
長野救命医療専門学校	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	学生代表
学校関係者評価結果の公表方法		

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>【ホームページ】 https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp/jouhoukoukai.html</p> <p>情報公開「(9) 学校評価」</p>
<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p>
<p>実施無し</p>

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>【ホームページ】 https://www.nagano-kyumeiiryuu.ac.jp</p> <p>【学校案内】 ホームページ請求フォーム、電話、メール等で請求 (無料)</p>
